

各位

全2ページ

登録速報(2022-192)

2022年 8月 29日

クミアイ化学工業株式会社

企画普及部普及課

## 登録速報

下記の通り、注意事項変更届けを提出しましたので、ご連絡します。

提出日：2022年8月26日

(注意事項は届けを提出した段階で、登録変更となります)

### 記

#### 1. 農薬の登録番号及び名称

登録番号：第19872号

名称：シヨキニーフロアブル

#### 2. 変更を生じた年月日

令和4年8月26日

#### 3. 変更を生じた事項及び変更の内容

農薬登録申請書第8項「使用上の注意事項」に、1)として以下の記載を追加し、以降を繰り下げ、別紙【変更後】のとおりとする。

#### 【追加】

1) 使用量に合わせ秤量し、使いきること。

#### 4. 変更の理由

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」の対象化学物質が見直され(令和3年10月20日公布)、本剤に使用している物質が新たに法の対象となり、注意事項の追加が必要となったため。

別紙

8. 使用上の注意事項

【変更後】

- 1) 使用量に合わせ秤量し、使いきること。
- 2) 本剤の使用に当っては、使用前に容器をよく振ること。
- 3) 本剤は雑草の発生前から生育始期に有効なので、ノビエの1葉期までに時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれがでるので、必ず適期に散布するようにすること。ホタルイは1葉期まで、ミズガヤツリは発生始期まで、クログワイは発生前が本剤の散布適期である。
- 4) クログワイに対しては発生期間が長く、遅い発生のものには効果を示さないので、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用すること。
- 5) 苗の植付けが均一となるように、代かきおよび植付作業はていねいにおこなうこと。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいにおこなうこと。
- 6) 散布の場合は、湛水状態（水深3～5 cm）で水の出入りを止めて散布すること。また、極端な浅水や深水での使用はさけること。  
水口施用の場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させること。処理後田面水が通常の湛水状態（湛水深3～5 cm）に達した時に必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意すること。
- 7) 散布または水口処理後、少なくとも3～4日間はそのまま湛水状態を保ち、田面を露出させないように注意し、また、散布後7日間は落水、かけ流しをしないこと。また、入水は静かにおこなうこと。
- 8) 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけること。
  - ①砂質土壌の水田および漏水田（減水深2 cm/日以上）
  - ②軟弱苗を移植した水田
  - ③極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田
- 9) 散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用はさけること。
- 10) 散布後の数日間に著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがあるが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていない。
- 11) 本剤を散布した水田の田面水を他の作物に灌水しないこと。
- 12) 本剤はその殺草特性から、れんこん、くわい、せりなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意すること。
- 13) 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用すること。特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

以上